

市場動向

(2017年11月～2018年1月)

赤坂地区

売買状況

(土地・建物)

売買の状況は売主は市況を考慮して強気のため、利回り4%以下の物件が多く、取引が少ないようである。

ホテルや立退き等の大型案件も出てきているが、様子を見ているように感じる。

不動産業者や金融機関からの相場のヒアリングが多く、水面下で動いているファンド関係の売買市場は活発であるように思われる。

賃貸状況

出店意欲は旺盛で、来店客・紹介及び電話問い合わせ等ニーズは多数存在している。

需要の多くは、飲食店では業種として寿司店・焼肉店・中華料理・ラーメン店であり、バー・クラブ案件としては10～15坪前後の居抜き店舗が中心である。

事務所については、築浅のスペックが充実している物件が求められているが、サービス店舗としての需要が見受けられる。

相場としては募集条件通りで成約しているので、やや上昇しているものの割高感のあるものは取り残されている状況である。

街の状況

忘年会・新年会シーズンの赤坂は、多くの人で賑わっていた。

忘年会が一段落するクリスマス以降の100坪クラスの大きい店舗であっても、満席で予約がないと入れない店もあった。

赤坂サカスでは期間限定でスケートリンクやイルミネーションが設置され、各種イベントが盛り上がっている。

2018年4月に赤坂4丁目の旧赤坂小学校跡地に国際医療福祉大学が開校されるため、地元住民と町づくりのために協力して頂き、更なる赤坂の発展のために寄与して欲しい。